

援農ツアーとふるさと納税の拡大について

伊達市議会産業建設常任委員会

調査の目的

外部からの援農参加者を地域の農業に招き入れる仕組み「援農ツアー」を検討することより、農家等の労働力不足を補い、農業体験を通じた交流促進および農業振興や地域活性化に与える効果を検証するとともに、ふるさと納税の活用・充実による税収拡大の可能性を探るため。

調査の時期

令和7年9月～令和7年11月（委員会を5回開催）

- (1) 令和7年9月18日（木）09:30～
- (2) 令和7年10月9日（木）10:00～
- (3) 令和7年11月5日（水）13:30～
- (4) 令和7年11月6日（木）10:00～
- (5) 令和7年11月7日（金）10:00～

調査の手法

1 現状把握

- (1) 所管部(産業部)から伊達市における援農(ボランティア・ツアー)及びふるさと納税についての現状と課題について説明を受けるとともに意見交換を行いました。(9/18)
- (2) JAふくしま未来伊達地区本部長、営農経済担当部地区部長、営農企画課、営農経済課から「援農ツアー」及び「農業振興」についての現状と課題について説明を受けるとともに意見交換を行いました。(10/9)

2 先進事例調査

- (1) 新潟県農林水産部経営普及課、地域農政振興課を視察し、農業人材不足への具体的な取り組み(援農・サポート)について研修を行いました。(11/5)



- (2) 新潟県長岡市を視察し、ふるさと納税返礼品「米」について研修を行いました。(11/6)



(3) 道の駅 川場田園プラザ(群馬県川場村)を視察し、「川場田園プラザ」の開設経緯、運営状況、ふるさと納税自動販売機について研修を行いました。(11/7)



調査結果の報告

令和8年伊達市議会定例会第2回定例会議(3月議会)の本会議で委員長が調査の結果の報告を行いました。(3/25)

